

ま ち の 話 題



▲ふれあいネットワーク活動中

ふれあいネットワーク活動中

5月20日、小郡市総合保健福祉センター「あすてらす」で下町区のふれあいネットワーク活動が実施されました。

この活動は、70歳以上の一人暮らしの人を対象に、地域の人たちとふれあうことで、閉じこもりを防ごうとするものです。

「食事と健康」「足・腰の大切さ」など、講師がさまざまな事例を挙げて紹介したり、ハーモニカ演奏に合わせてなつかしい童謡を声高らかに歌うなど、互いの親睦を深める楽しい一日となりました。



▲来場者でにぎわう会場

春の茶会

市内唯一の山、花立山を楽しもうと、花立山を楽しむ会（福永丈四郎会長）が主催した「春の茶会」が、5月27日に開催されました。

留学するために日本語を学んでいる西日本国際言語学院（中央1）の生徒らも参加した茶席では、普段着で気取らない雰囲気の中でお茶が勧められ、初めての人も気楽に楽しめるものとなりました。

好天には恵まれたものの初夏の行事が重なったため、例年よりは来場者が少なく感じましたが、採りたて野菜や自家製の漬物などが並ぶ露店には、たくさんの人だかりができていました。

ホークス野球教室



▲作品集をかこむ寺崎さん、後藤さん、永松さん（左から）

「うた」の作品集発刊

日吉神社拝殿の、掲示板へ昨年の7月号まちの話題で紹介しに発表されていた短歌や川柳などが作品集になりました。

この掲示板は、小郡連合区長会と神社総代会が小郡の文化向上の一翼を担うために設けていたもので、昨年4月から今年の3月までに短歌・俳句・川柳が220点程になりました。

作品集は、これらの「うた」をまとめた60ページ程のもので、随所にカラー写真が入るなど視覚的にもゆとりあるつくりになるよう工夫されています。

編集は、区長会文化部会（岡本政隆さん、原憲一さん、平見勝彦さん）と総代会文化部会（後藤徳さん、永松理和さん、寺崎俊文さん）が手がけ、その一人、後藤さんは、一般の皆さんの応募のほか、文化協会の短歌の会・俳句の会に協力いただき感謝しています。今後も、拝殿に「万葉の箱」を設けていきますので、より多くの皆さんからの出品をお待ちしています」と話していました。

6月2日、2007ウエスタンリーグ公式戦「福岡ソフトバンクホークスVS中日ドラゴンズ」の終了後、野球教室が開催されました。

市内外の11チーム約150人が参加。この日、けがから復帰し、2番DHで試合に出場した川崎宗則選手ら憧れの選手と同じグラウンドで練習することができると、子ども達にとっては記念となる一日になりました。

ま ち の 話 題

世界の料理と国際理解講座



6月17日(日)、「あすてらす」で、ごおり国際交流協会」と市の共催で、世界の家庭料理体験教室と国際理解講座を開催しました。

講師は、中米のグアテマラ出身のマリアナ・ララさん(九州大学大学院留学生)でした。

午前中は、グアテマラの家庭料理の中から、アボガドを使った「グアカモレ」、牛肉、チーズ、レタスなどがたっぷりの「タコス」、えびを使った「シユリンプカクテル」の3種類を教えてもらいました。大人30人と子ども6人の参加者は、マリアナさんとの会話を楽しみながら、料理を作り、試食をしました。

午後の国際理解講座では、緑豊かな森、エメラルドグリーン的大海、古代マヤ文明の遺跡などをDVDの映像で見ながら、マリアナさんに「私の国グアテマラ」というテーマで話していただきました。その後、「好きな日本の食べ物」は、「将来の夢は」など参加者の質問に答えていました。短い時間でしたが、和やかな国際交流の一日でした。



▲給食サンプルを熱心に見る来場者

保育の中での食の取り組み

市内の保育所(園)11園が加盟する小郡市保育所連盟(廣瀬哲之会長)が6月3日、生涯学習センターにおいて、第12回保育フェスタ「あすてらす」を開催しました。

今回は、「食」をテーマにし、「子ども達の健康、保護者の健康を守るにはどうしたらよいか」について各保育所(園)の給食の先生の取り組みを写真、給食サンプルやパネルを使って展示していました。

講演会では、安武信吾さん(西日本新聞社事業局出版部次長)が「食」の現状と問題点を資料で示しながら話され、参加者は、食の大切さを改めて感じた講演となりました。



▲プロ野球選手から指導を受ける少年野球の選手ら